

# コミュニティ・スクールを核とした

共に。  
周南市

# 周南市の「地域と“共に”ある学校」通信

平29年度 第21号

平成29年 11月 28日 発行

周南市教育委員会

学校教育課

## 地域学習を小中連携に生かす 岐陽中校区



11月16日（木）に岐陽中学校1年生は、総合的な学習の時間で行った「地域探訪」の発表会を、徳山小学校5年生、岐山小学校6年生を対象に、各学校に出向いてポスターセッションで行いました。

市内の企業や施設、歴史的建造物などを訪れて調べたことや感じたこと、関係者の言葉をまとめ、関連したクイズを加えて、小学生に親しみやすい方法を工夫した内容で発表しました。また、小学生が積極的な質問を行うなど交流が深まりました。

中学生にとっては、校区の先輩として児童のよきモデルになる機会として、小学生にとっては自分の将来のよきモデルを見つける機会として有効な連携となりました。校種間連携の理解が深まります。

## 道徳教育を学校と地域で考える 太華中学校

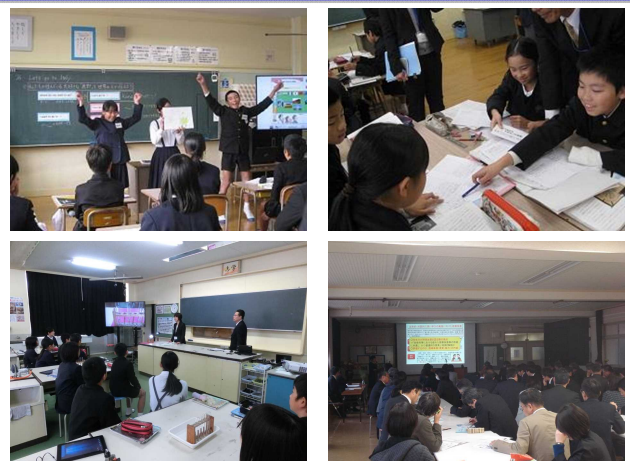


11月16日（木）に太華中学校では、学校運営協議会委員を交え授業研究会を行うと共に、県教育委員会義務教育課から講師を招いて「道徳の教科化に向けて」というテーマで研修を行いました。

ユニット型研修の協議では、地域の方が授業の感想に加えて、視点をもって意見を述べる姿を見ることができ、教職員との協議の中で積極的な交流ができていました。地域の方からは、道徳の授業によって、子ども達の態度や行動が変容することを期待するという意見を聞きました。

講師からは、新学習指導要領におけるこれまでとの変更点、道徳の教科化に向けた推進のポイント、社会に開かれた教育課程で示される考え方と地域の実態を踏まえた重点項目の設定など学校運営協議会委員の研修として、内容の充実したものでした。

## 小中連携研究発表大会（国研）鹿野小・中学校



11月17日（金）に鹿野小・中学校は国立教育政策研究所教育課程研究指定事業を受けて、「校種間連携（小中連携）を軸とした、言語活動を充実させる教育の実践」を主題として発表会を開催しました。

小学校6年の外国語活動では小中の教員、ALTの指導によって「鹿野」について紹介を考え、発表する活動（写真左上）、国語（写真右上）や理科（写真左下）はグループ学習による学習展開を仕組み、小中教員の役割を生かしたTTの授業を公開しました。小中学校が近い関係になっていくために、授業づくり以外にも授業と家庭学習を支える「鹿野っ子ノート」の研究が重要でした。子ども達の生き生きとした姿が印象に残る充実した研究大会であり、これまでの研究の成果を感じました。